
日常

tubakiti

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日常

【Nコード】

N8841K

【作者名】

tubakiti

【あらすじ】

特別なことも無く、ドラマとも縁がない。

普通の日々を過ごす女子高生が、自分の行きたい世界と、現実の世界の間で葛藤し、何時しかその境目が分からなくなる。

次第に世界は反転し、自分が誰かも分からなくなる・・・

一章：陽の届かない部屋

「ごめん。君とは良い友達で居たいんだ・・・」

またか・・・他に気の利いた言葉は無いの？

皆同じ答えばかり。

「こつちこそごめんね。驚かせちゃったよね。ごめん・・・」

これ以上ここに居たくない、そんな気持ちで私は逃げるように走った。

別れ間際に見た彼の申訳なさそうな顔が頭から離れない。

「大丈夫。いつものことだから。分かってるから」

そう自分を慰めるように呟いて走った。

家に着く頃には額に前髪がくっつくほど汗をかいていた。

部屋に入ると呼吸を整えるようにゆっくり歩き、ベッドの上でひざを抱え込んだ。

「もう、人を好きになるのはやめようかな」

お決まりの台詞をばく。

親と居たくないから、それだけの理由で実家を飛び出し、地方の高校で一人暮らしを始めて1年と二月が過ぎたが、私は何も変わらない。

私の生活も変わらない。

事あるたびに変わろうと思いついて、一度は努力する。

だけど続かない。

「私ってなんでこうなんだろうなあ」

大の字にベッドへ寝転んだ。

「顔が良いってわけじゃないけど、別に悪いって程でもないと思うんだけどなあ。」

みんな、友達で居ようとか、他に好きな人がいるからとか・・・他に言う言葉はないの？」

前髪を触りながらふてふてしてみる。

「髪きるツかな・・・」

それで何か変わるわけじゃないことは知っている。

だけど、何かを変えた気にならないと納得できない。

変えたいんじゃない、変わりたい。

好い加減にこの暮らしを抜け出したい。

良い男と付き合いたいし、お金持ちにもなりたい。

アイドル・・・はあつかましいか。それでも幸せになりたい。

だけど、私は変わらない。

明日になればまた学校が始まり、ドラマなんて縁の無いまま日々が過ぎていく。

時々恋して、失敗して、時々肩張ってみて・・・それでも何も変わらない。

きっとこれが人生なんだろうな。

なんとなく分かっていているけど、未来って言う言葉に期待して、甘えてみて・・・

考え込んでるうちに寝込んでしまった。

目じりに涙の痕を残して・・・

一章：陽の届かない部屋（後書き）

さて、短いですが、第一章終わりです。

投稿自体は初めてなのでどうなることやら・・・と不安に駆られています。読んでもらえたらと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8841k/>

日常

2010年10月15日23時03分発行